

令和2年度
事業報告書及び決算報告書

令和3年6月

一般社団法人

新薬・未承認薬等研究開発支援センター

令和2年度 事業報告書

「一般社団法人 新薬・未承認薬等研究開発支援センター（以下略称：「PDSC）」は、日本製薬工業協会（以下略称：「JPMA）」の会員会社を中心となり、2009年5月に設立され、未承認薬等の開発に取り組む企業の研究開発・承認取得等に対する専門的・薬事的・技術的な支援や資金援助などの未承認薬等開発支援事業（以下「未承認薬等事業」）を行ってまいりました。

一方、新薬の創出については創薬標的の複雑化、科学技術の高度化・多様化・研究開発コストの高騰などにより製薬企業単独での新薬創出の難易度は高まっており、高度な技術・知見を有するアカデミア、バイオベンチャー等との産学連携や非競争領域における製薬企業間の産産連携が益々重要な役割を担うことから、2020年4月にこれら連携活動の業界側取りまとめ機能を新規事業として加え、あらたな法人名称で業務をスタートしております。

PDSCの事業目的である未承認薬等事業は、「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議（以下「未承認薬等検討会議：平成22年2月設置）」において必要性が高いと認められた未承認薬等（開発要請品または開発公募品）に対し、業界を挙げ積極的に対応したことで下表のごとく大きく進展しており、また学会等からの要望件数も順調に減少している状況です。

対象	開発要請品				開発公募品				合計
	第Ⅰ回	第Ⅱ回	第Ⅲ回	第Ⅳ回	第Ⅰ回	第Ⅱ回	第Ⅲ回	第Ⅳ回	
要望を受けた件数	374	290	168	126					958
要請又公募した件数	165	88	51	40	17	15	4	12	392
薬事承認済み件数	159	78	35	9	10	9	0	0	300
薬事承認割合（%）	96%	89%	69%	23%	59%	60%	0%	0%	77%
第44回 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議（令和3年3月開催）等の公表資料からの自主カウントによる									

（要望募集期間：第Ⅲ回（平成25年5月～平成27年6月）、第Ⅳ回（平成27年7月～随時受付を継続）

またこの他、「平成21年度未承認薬・新型インフルエンザワクチン等対策基金の基金管理事業（令和元年10月基金解散）に引き続き、「令和2年度新型コロナウイルスワクチン等生産体制整備臨時特例給付金に係る基金事業（以下「ワクチン生産体制等緊急整備基金事業）」における基金管理団体として厚労省から指名（令和2年7月）され、基金管理事業（総額：約9845億円）をスタートしております。

従って、令和2年度は従来の未承認薬等事業に加え、創薬研究推進支援事業、ワクチン生産体制等緊急整備基金管理事業を中心に業務を行いました。

1. 事業活動

(1) 未承認薬等開発支援事業

①未承認薬等の研究、開発、生産等における開発企業等に対する専門的支援

②開発企業等の行う承認取得に関する各種業務等への支援

主にベンチャー企業や開発経験の浅い企業を対象とするこれら支援の他、開発要請先がなく開発企業の募集に至った開発公募品や厚労省関係部署等から依頼された開発要請品の様々な課題を有する開発企業からの相談・要請等に可能な限り対応しました。

また他の製薬企業、医療機関、学会等からの未承認薬等に係る種々の相談要請等、また未承認薬等の通常使用を待ち望んでおられる患者・家族からの問合せ等に対し丁寧に対応しました。

③未承認薬の研究、開発、生産等において必要な資金の補助

公募品の開発募集に手挙げいただいた企業に対しては、開発の一助として開発支援に係る助成金を援助しております。

なお助成金原資となる社員会社の年会費については未承認薬等の解消が大きく進み、あらたな開発公募品の減少および引当金状況等を考慮して、当初の年会費総額 3 億 1,000 万円を漸減し 2,017 年度より 5,000 万円（事務管理費のみ）としております。

1) 助成金の交付対象は、平成 21 年度対策基金対象の 14 成分、開発公募品 48 件の計 62 件で、1 件あたりの助成金額は 14 成分が 5,000 万円、公募品は 3,000 万円を上限としております。

2) 助成金交付の進捗状況

令和 2 年度は 5 件、計 37,868,124 円を交付しました。

これにより交付完了件数は 40 件、交付累計額は 1,444,271,868 円となっております。

(未完了 22 件)

					令和3年3月末	
助成対象	対象件数	交付完了件数	交付済額計 (百万円)	交付未完了件数	交付予定額計 (百万円)	
14成分(～H21.4)	14	13	641	1	50	
第1回公募(H21.6～)	17	12	332	5	150	
第2回公募(H23.8～)	15	14	423	1	27	
第3回公募(H25.8～)	4	0	0	4	120	
第4回公募(H27.7～)	12	1	48	11	311	
計	62	40	1444	22	658	

3) 令和 2 年度の助成金交付実績および交付累計、開発状況は下表のとおりです。

《未承認薬 14 成分》 上限 5,000 万円

令和 3 年 3 月末 (単位: 円)

	成分名	開発企業	令和2年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	クロファラビン	ジェンザイム Japan	完了	44,547,779	0	薬価収載・販売
2	アレムツズマブ	ジェンザイムJ/サフィ	完了	49,200,828	0	薬価収載・販売
3	タルク	ノーベルファーマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
4	スチリペントール	Meiji Seikaファルマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
5	ルフィナミド	エーザイ	完了	47,225,202	0	薬価収載・販売
6	メサドン	帝國製薬	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
7	ヒトヘミン	シミックHD	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
8	テトラベナジン	アルフレッサファーマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
9	経口リン酸塩製剤	ゼリア新薬	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
10	フェニル酪酸ナトリウム	シミックHD	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
11	ストレプトゾシン	ノーベルファーマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
12	システアミン	マイラン製薬	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
13	ベタイン	レクメド	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
14	ヘキサアザパルカール	協和キリン/セルグイエ	0	0	50,000,000	開発中
	合計		0	640,973,809	50,000,000	

《第 1 回開発企業公募 17 件》 上限 3,000 万円

令和 3 年 3 月末 (単位: 円)

	成分名	開発企業	令和2年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	コリスチンメタンホルン酸 ナトリウム塩 (注射剤)	グラクソ・スミスクライン	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
2	コリスチンメタンホルン酸 ナトリウム塩 (吸入剤)	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
3	プロゲステロン (経口剤)	富士製薬工業	完了	30,000,000	0	薬事申請中
4	プロゲステロン (経膈剤)	富士製薬工業	完了	30,000,000	0	販売
5	メトロニダゾール	ファイザー	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
6	デクスラゾキサソ	キッセイ薬品工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
7	亜セレン酸ナトリウム	藤本製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
8	ホメピゾール	武田薬品工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
9	メチレンブルー	第一三共	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
10	モルヒネ塩酸塩水和物	日本メドトロニック	2,057,051	2,057,051	0	薬事承認済
11	アルデスロイキン	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
12	カルグルミック酸①	ポーラファルマ	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売

13	ニチシノン	アステラス製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
14	安息香酸ナトリウム・フェニル酢酸ナトリウム配合剤	武田薬品工業	—	—	30,000,000	—
15	リロナセプト	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
16	ナフシリン	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
17	ハイドロモルフォン塩酸塩	第一三共	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
合計			2,057,051	332,057,051	150,000,000	

《第2回開発企業公募 15件》 上限 3,000 万円

令和3年3月末 (単位:円)

	医薬品名	開発企業	令和2年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	カルグルミック酸②	ポーラファルマ	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
2	ジメチルスルホキシド	杏林製薬	完了	30,000,000	0	薬事承認済
3	スルファジアジン	バルティスファーマ	0	3,034,444	26,965,556	開発中
4	チオテパ (成人)	大日本住友製薬	完了	60,000,000	0	申請中 (成人)
5	チオテパ (小児)					薬価収載 (小児)
6	ヒスタジニ二塩酸塩 (成人)	JT/鳥居薬品	完了	60,000,000	0	薬価収載・販売
7	ヒスタジニ二塩酸塩 (小児)					
8	ペガデマールゼ	帝人ファーマ	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
9	メコリソ塩化物 (成人)	三和化学研究所	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
10	メコリソ塩化物 (小児)	参天製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
11	メチロシン	小野薬品工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
12	イブプロフェン リジン塩	千寿製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
13	3-エトドヘンジメチルアジジン①	富士フィルム富山化学	32,846,000	90,000,000	0	開発計画中
14	3-エトドヘンジメチルアジジン②					申請準備中
15	3-エトドヘンジメチルアジジン③					開発計画中
合計			32,846,000	423,034,444	26,965,556	

《第3回開発企業公募 4件》 上限 3,000 万円

令和3年3月末 (単位:円)

	医薬品名	開発企業	令和2年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	ヒト合成セクレチン①	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
2	ヒト合成セクレチン②	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
3	アナキンラ①	SOB-J	—	—	30,000,000	開発検討中
4	イベルメクチン	科研製薬	—	—	30,000,000	開発中
合計			0	0	120,000,000	

SOB-J: Swedish Orphan Biovitrum JAPAN

《第4回開発企業公募 12件》 上限 3,000 万円

令和3年3月末（単位：円）

	医薬品名	開発企業	令和2年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	ヘリウム酵素混合ガス	エア・ウォーター	0	0	30,000,000	開発中
2	Carbidopa/Levodopa	大原薬品工業	0	0	30,000,000	開発準備中
3	ミダゾラム	なし			30,000,000	
4	β-グルクロニダーゼ	アミカス・セラピューティクス	完了	30,000,000	0	開発中
5	コール酸（成人）	レクメド	2,965,073	18,206,564	41,793,436	開発中
6	コール酸（小児）					
7	アナキンラ②	SOB-J	0	0	60,000,000	開発検討中
8	アナキンラ③					
9	ワダントロン（成人）	丸石製薬	0	0	60,000,000	
10	ワダントロン（小児）					
11	Angiotensin II	なし			30,000,000	
12	イソトレチノン	なし			30,000,000	
	合計		2,965,073	48,206,564	311,793,436	

- 4) 助成金の交付決定については、開発企業からの申請の都度、その内容・金額の適正等について下記メンバーからなる開発支援検討会に諮問のうえ、当センターにて審議・決定しております。

【検討会委員】:

日本製薬工業協会常務理事（委員長）、同医薬品評価部長、同医薬品評価委員会委員長、同医薬品評価委員会臨床評価部会長、同薬事・バイオ医薬品部長、同薬事委員会委員長

(2) 創薬研究推進プロジェクト支援事業

① 実施目的

製薬協「政策提言 2019」におけるイノベーション政策の実現に向け、業界主導型の研究プロジェクトを機動的に運営する。

② 業務内容

- 1) 研究プロジェクト全体の機動的な運営及び管理（研究PJ運営会議の開催等）
- 2) プロジェクトに係る外部組織との契約締結
- 3) 公的研究資金への応募及び資金の受け入れ

③ 研究PJ運営会議の開催

1) 主要メンバー構成

議長（PDSC 専務理事）、PDSC 理事（JPMA 研究開発委員長兼務）、JPMA 産業政策委員長、JPMA 医薬品評価委員長、JPMA 専務理事、PDSC 担当者（事務局）

2) 開催日

令和2年9月30日：新規プロジェクトの承認、各プロジェクト進捗報告及び課題抽出

令和3年1月28日：各プロジェクトの次年度事業計画及び予算の承認

④ 各プロジェクトの目標と令和2年度実績

1) DELs(DNA Encoded Libraries)コンソーシアム：J-MODDEL、参加企業：10社)

《目標》

JAPAN DELs Center の設立 (3年間)

《実績》

- ・既存 DELs 技術の検証 (完了)
- ・共同研究体制の整備 (完了)
- ・DELs 新規合成法の確立実験 (遅延：COVID-19 の影響)

2) PD(Protein Degradar)コンソーシアム：J-PROGRES、参加企業：9→5社)

《目標》

創薬応用が期待できる標的蛋白分解誘導薬(PD)手法の開発と成果物の活用 (5年間)

《実績》

- ・E3 リガーゼ(E3L)の統合 DB を構築し新規 E3L の特定 (完了)

3) RNA 創薬コンソーシアム：J-SMART、参加企業：11社

《目標》：新規承認 PJ：低分子 RNA 創薬プラットフォームの構築 (6年間)

《令和3年度までの計画》

- ・AMED 補助金獲得に向けた Feasibility study の実施

4) 前向きゲノムコホート研究

《目標》

東北メディカルメガバンク機構(ToMMo)の健康情報とゲノム情報等を活用した共同研究による予防・先制医療ソリューションの実用化 (3年間～)

《実績》

- ・パイロット試験 (完了)、追加パイロット試験 (ほぼ完了)

5) 疾患別統合データベースの構築 (参加企業：9→7社)

《目標》

国立高度専門医療研究センター (4NC) と共同で AMED 産学官共同臨床情報利活用創薬プロジェクト (GAPFREE) に参画し、“疾患別情報統合 DB” の構築を通じ、参画企業の創薬研究に活用 (5年間)

《実績》

- ・7企業、4NC体制で GAPFREE に採択され研究開始 (完了)

(3) ワクチン生産体制等緊急整備基金の管理事業

PDSC が基金管理団体の指名を受けた 2020 年 7 月時点、ワクチン生産体制整備事業 (公募型) として基金規模は約 1,377 億円であったが、同年 9 月、全国民分のワクチン早期接種を目的とする海外ワクチン確保事業 (非公募型)、更に本年 3 月、国産ワクチンの研究開発支援事業 (仮称、公募

型) が追加されるに至り、基金総額は約 9,800 億円超に拡大しております。

【生産体制整備事業(公募型)】

新型コロナワクチンの早期実用化のための体制整備に係るワクチン生産体制等緊急整備基金による生産体制整備を目的とした事業。

事業実施期間；令和 2 年 7 月 31 日～令和 5 年 3 月 31 日

令和 3 年 3 月末

企業 (採択)	助成金額	令和 2 年度交付額	助成累計額	残額
武田薬品工業	30,136,410,000	23,975,730,000	23,975,730,000	6,160,680,000
塩野義製薬	22,303,510,000	12,014,670,000	12,014,670,000	10,288,840,000
アストラゼネカ	15,039,649,050	6,872,316,050	6,872,316,050	8,167,333,000
アンジェス	9,380,300,000	4,029,300,000	4,029,300,000	5,351,000,000
KMバイオロジクス	9,800,000,000	2,030,000,000	2,030,000,000	7,770,000,000
第一三共	6,030,000,000	6,030,000,000	6,030,000,000	0
6 社計	92,689,869,050	54,952,016,050	54,952,016,050	37,737,853,000

【海外ワクチン確保事業(非公募型)】

海外ワクチンを確保するための費用を補助する「非公募型」の事業。

事業実施期間；令和 2 年 9 月 8 日～令和 4 年 3 月 31 日

指名企業はファイザー、モデルナ社 (武田薬品工業)、アストラゼネカ社の 3 社で、個々の情報等は契約上非開示のため 3 社合計金額にて表示しております。

なお令和 2 年度末にて本事業の助成金交付は完了しました。

令和 3 年 3 月末

企業 (指名)	助成金額	令和 2 年度交付額	助成累計額	残額
3 社計	795,190,239,580	795,190,239,580	795,190,239,580	0

【研究開発支援事業(公募型)】

本事業に係る情報は現時点未公表。

【管理事務費】

基金管理に係る管理事務費の配賦状況

基金管理団体	交付額	令和 2 年度配賦額	配賦済金額累計	残額
P D S C	180,439,000	33,658,930	33,658,930	146,780,070

2. 本年度、開催した理事会および社員総会

(1) 理事会

第33回理事会

日 時：令和2年2月28日

場 所：日本橋ライフサイエンスビルディング3階 314号室

議 案：① 新規事業の開始に関する件
② 理事の増員に関する件
③ 定款の一部変更に関する件
④ 令和2年度事業計画に関する件
⑤ 令和2年度予算に関する件
⑥ 臨時社員総会招集および付議すべき議案の承認に関する件
報告事項：定期業務報告の頻度等

第34回理事会

日 時：令和2年5月20日

場 所：書面開催による決議

議 案：① 令和元年度事業報告に関する件
② 令和元年度決算報告に関する件
③ 定時社員総会招集および付議すべき議案の承認に関する件
④ 給与規程の一部変更に関する件
報告事項；あらたな公募品（アナキンラ2件：次回より業務報告にて充当）

第35回理事会

日 時：令和2年6月5日

場 所：日本橋ライフサイエンスビルディング3階 302号室

議 案：① 新規基金事業管理団体の応募に関する件
② 定款の一部変更に関する件
③ 定時社員総会招集および付議すべき議案の承認に関する件
④ 会計監査人の選任に関する件
⑤ 重要な職員の採用に関する件

第36回理事会

日 時：令和3年3月24日

場 所：書面開催による決議

議 案：① 令和3年度事業計画に関する件
⑥ 令和3年度予算に関する件
⑦ 新規入会の承認に関する件

(2) 社員総会

臨時社員総会

日 時：令和2年3月26日

場 所：日本橋ライフサイエンスビルディング2階 大会議室

出席社員：出席28社および委任状提出43社（総社員数73社）

- 議 案：① 新規事業の開始に関する件
② 理事の選任に関する件
③ 定款の一部変更に関する件
④ 令和2年度事業計画に関する件
⑤ 令和2年度予算に関する件

定時社員総会

日 時：令和2年6月24日

場 所：日本橋ライフサイエンスビルディング2階 大会議室

出席社員：出席26社および委任状提出42社（総社員数72社）

- 議 案：① 令和元年度事業報告に関する件
② 令和元年度決算報告に関する件
③ 新規基金事業管理団体の応募に関する件
④ 定款の一部変更に関する件
⑤ 会計監査人の選任に関する件

報告事項；あらたな公募品（アナキンラ2件：次回より事業報告にて充当）

以 上

貸借対照表

(令和 3年 3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	134,752,477,401	248,456,008	134,504,021,393
前払費用	634,370	566,270	68,100
流動資産合計	134,753,111,771	249,022,278	134,504,089,493
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	11,920,000	9,720,000	2,200,000
退職給付引当資産	0	425,370	-425,370
センター支援事業引当資産	400,000,000	500,000,000	-100,000,000
新型コロナウイルスワクチン 管理事業特定預金	146,780,070	0	146,780,070
特定資産合計	558,700,070	510,145,370	48,554,700
(2) その他固定資産			
付属設備	467,020	554,306	-87,286
什器備品	46,627	53,287	-6,660
敷金	4,610,962	4,191,960	419,002
その他固定資産合計	5,124,609	4,799,553	325,056
固定資産合計	563,824,679	514,944,923	48,879,756
資産合計	135,316,936,450	763,967,201	134,552,969,249
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	205,930	377,230	-171,300
新規事業 預り金	61,283,234	0	61,283,234
預り補助金	134,348,054,290	0	134,348,054,290
流動負債合計	134,409,543,454	377,230	134,409,166,224
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	11,920,000	9,720,000	2,200,000
退職給付引当金	0	425,370	-425,370
固定負債合計	11,920,000	10,145,370	1,774,630
負債合計	134,421,463,454	10,522,600	134,410,940,854
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取助成金	146,780,070	0	146,780,070
指定正味財産合計	146,780,070	0	146,780,070
(うち特定資産への充当額)	(146,780,070)	(0)	(146,780,070)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(400,000,000)	(500,000,000)	-(100,000,000)
正味財産合計	895,472,996	753,444,601	142,028,395
負債及び正味財産合計	135,316,936,450	763,967,201	134,552,969,249

正味財産増減計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取会費	50,000,000	49,875,330	124,670
正会員受取会費	50,000,000	49,875,330	124,670
②受取助成金振替額	33,658,930	3,641,652	30,017,278
新型コロナウイルスワクチン等管理事業	33,658,930	3,641,652	30,017,278
③雑収益	359,904	31,478	328,426
受取利息	359,904	31,478	328,426
経常収益計	84,018,834	53,548,460	30,470,374
(2) 経常費用			
①事業費	79,122,307	97,433,269	-18,310,962
センター支援事業費	37,868,124	75,241,491	-37,373,367
預り補助金等への振替額	310,196	0	310,196
事業管理費	40,943,987	22,191,778	18,752,209
役員報酬	9,071,130	5,567,760	3,503,370
給料手当	15,375,726	7,931,640	7,444,086
通勤交通費	569,617	70,872	498,745
役員退職慰労給付費用	1,842,500	710,000	1,132,500
退職給付費用	0	212,685	-212,685
福利厚生費	3,228,825	1,897,828	1,330,997
会議費	229,883	0	229,883
旅費交通費	50,438	23,453	26,985
図書調査費	82,764	52,193	30,571
通信運搬費	203,704	104,319	99,385
減価償却費	46,973	51,087	-4,114
消耗什器備品費	382,570	0	382,570
消耗品費	317,654	182,363	135,291
賃借料	7,605,165	4,556,307	3,048,858
諸謝金	646,610	298,542	348,068
委託事務費	727,610	159,473	568,137
広報費	0	77,760	-77,760
雑費	562,818	295,496	267,322
②管理費	9,860,887	20,082,564	-10,221,677
役員報酬	1,760,070	4,555,440	-2,795,370
給料手当	1,249,166	3,240,000	-1,990,834
通勤交通費	8,575	60,948	-52,373
役員退職慰労給付費用	357,500	710,000	-352,500
福利厚生費	422,142	1,040,726	-618,584
会議費	679,629	1,299,699	-620,070
旅費交通費	18,512	17,753	759
図書調査費	4,356	34,795	-30,439
通信運搬費	52,412	85,186	-32,774
減価償却費	46,973	51,087	-4,114
消耗什器備品費	20,135	0	20,135
消耗品費	43,489	147,088	-103,599
賃借料	1,401,154	3,730,431	-2,329,277
諸謝金	54,590	284,718	-230,128
租税公課	58,200	10,600	47,600

科 目	当年度	前年度	増減
委託事務費	3,198,757	4,251,023	-1,052,266
広報費	396,000	311,040	84,960
雑費	89,227	252,030	-162,803
経常費用計	88,983,194	117,515,833	-28,532,639
当期経常増減額	-4,964,360	-63,967,373	59,003,013
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取助成金振替額			
新型インフルエンザワクチン管理事業	0	10,447,121	-10,447,121
退職給付引当金戻入	212,685	0	212,685
経常外収益計	212,685	10,447,121	-10,234,436
(2) 経常外費用			
受取助成金国庫返還額			
新型インフルエンザワクチン管理事業	0	10,447,121	-10,447,121
経常外費用計	0	10,447,121	-10,447,121
当期経常外増減額	212,685	0	212,685
当期一般正味財産増減額	-4,751,675	-63,967,373	59,215,698
一般正味財産期首残高	753,444,601	817,411,974	-63,967,373
一般正味財産期末残高	748,692,926	753,444,601	-4,751,675
II 指定正味財産増減の部			
受取助成金	180,439,000	0	180,439,000
一般正味財産への振替額	-33,658,930	-14,088,773	-19,570,157
当期指定正味財産増減額	146,780,070	-14,088,773	160,868,843
指定正味財産期首残高	0	14,088,773	-14,088,773
指定正味財産期末残高	146,780,070	0	146,780,070
III 正味財産期末残高	895,472,996	753,444,601	142,028,395

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

付属設備及び什器備品

定率法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

① 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支払に備えるため、役員退職金規程に基づく必要額を計上しています。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しています。

(3) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
役員退職慰労引当資産	9,720,000	2,200,000	0	11,920,000
退職給付引当資産	425,370	0	425,370	0
センター支援事業引当資産	500,000,000	0	100,000,000	400,000,000
新型コロナウイルスワクチン 管理事業特定預金	0	180,439,000	33,658,930	146,780,070
合計	510,145,370	182,639,000	134,084,300	558,700,070

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
役員退職慰労引当資産	11,920,000	(ー)	(ー)	(11,920,000)
センター支援事業引当資産	400,000,000	(ー)	(400,000,000)	(ー)
新型コロナウイルスワクチン管理事業 特定預金	146,780,070	(146,780,070)	(ー)	(ー)
合計	558,700,070	(146,780,070)	(400,000,000)	(11,920,000)

4. 担保に供している資産

該当事項ありません。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
附属設備	1,761,144	1,294,124	467,020
什器備品	221,029	174,402	46,627
合計	1,982,173	1,468,526	513,647

6. 補助金等の内訳、交付者及び当期の増減額並びに残高

補助金等の内訳、交付者及び当期の増減額並びに残高は、次のとおりであります。

(単位：千円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(1) 受取助成金 (基金管理事務費)						
新型コロナウイルスワクチン管理 事業	厚生労働省	0	180,439	33,658	146,780	指定正味財産
小計		0	180,439	33,658	146,780	
(2) 預り補助金						
新型コロナウイルスワクチン等生産 体制整備事業	厚生労働省	0	984,490,310	850,142,256	134,348,054	流動負債
小計		0	984,490,310	850,142,256	134,348,054	
合計		0	984,670,794	850,175,915	134,494,834	

(注) 千円未満は、切捨て計算しております。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	33,658,930
合計	33,658,930

8. 重要な後発事象

該当事項ありません。

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2.に記載しているため、記載を省略いたします。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	9,720,000	2,200,000	0	0	11,920,000
退職給付引当金	425,370	0	212,685	212,685	0

(注) 計上の理由及び金額の算定方法は財務諸表に対する注記1. 重要な会計方針に記載のとおりであります。